

議事概要作成日：令和 8 年 7 月 6 日

記録者：上池

令和 8 年度第 1 回逗子市避難所運営（準備）委員会連絡協議会 議事概要

日 時：令和 8 年 6 月 25 日（木）18 時 30 分～20 時 00 分

場 所：逗子市役所 5 階 第 2 会議室

参加者：逗子小学校地区 三根氏
沼間小学校地区 内山氏、根本氏、森山氏
久木小学校地区 小林氏、新倉氏
小坪小学校地区 梶原氏、宮川氏、大村氏
池子小学校地区 金松氏、長島氏、田宮氏
経営企画部防災安全課 市川課長、相澤課長補佐、鎗木係長、佐藤専任主査、
高橋主事、上池主事

傍聴者：0 名

1 開 会

あいさつ・資料確認・資料案内・人事異動に伴う職員紹介を行った。

2 議題 1 令和 8 年度防災に関する行事の予定について（資料 3）

今年度は従来別々に実施していた総合防災訓練と避難所運営訓練を今年度は同一日（10 月）に統合して実施する。また、災害時情報発信訓練は日程未定だが一斉実施を予定している。

3 議題 2 令和 8 年度総合防災訓練の内容について（資料 4）

（1）これまでの経緯と課題

令和元年以前は第一運動公園での大規模会場型訓練を実施していたが、マンネリ化の傾向があったため、令和 4 年度以降は各小学校区の地区別訓練に移行した。地区別訓練の成果として、①地区防災拠点班・避難所運営委員会・住民自治協議会との関係構築、②地域ごとの防災意識の向上、③複数の訓練メニューを体験できる機会の確保が挙げられた。一方で課題として、①若年層を含む市全体の防災意識底上げが不十分、②防災関係機関との連携が希薄化、③市の防災訓練と避難所運営訓練の同日実施による参加制約が指摘された。

(2) 令和8年度の方針

地区別訓練の成果を踏まえつつ、防災関係機関・住民が連携する総合防災訓練の本来の趣旨に立ち返り、市内1会場での総合防災訓練に移行する。

実施日時：10月3日（土）

場所：第一運動公園（運動広場）

(3) 訓練内容（案）

前半を市民・自主防災組織が参加する体験型訓練（非常通信訓練、初期消火訓練、ペット同行避難訓練、救出救護訓練、AED・救急訓練等）を実施し、後半は消防・警察・自衛隊・ライフライン事業者等と連携した展示型訓練（応急給水、道路啓開、ライフライン復旧、倒壊家屋からの救出等）を実施する予定。また、デジタル技術を活用した情報発信訓練についても、総合防災訓練と同日または別日での一斉実施を検討中。

(4) 今後のスケジュール

7月30日（木）に自主防災組織向け説明会を市役所で実施予定。

4 議題3 令和8年度各小学校地区避難所運営訓練の予定について（資料5）

（池子小学校地区）

訓練日・場所は決定済み。委員は輪番制で毎年交代しており、訓練参加者の約7～8割が初参加という状況が続いている。今後、各班の役割確認とマニュアル読み合わせを進める予定。

（小坪小学校地区）

12月5日に実施予定。マニュアルに沿った避難所開設訓練を中心に、心肺蘇生法訓練も検討中。訓練・セミナーを合計5回程度実施する計画で、夏場のパーティション設営訓練やマンホールトイレ設営訓練も盛り込む予定。

（久木小学校地区）

11月29日（日）に久木小学校体育館・1階教室で実施予定（学校と確認済み）。現在マニュアルを現代版に改訂中。衛生班の携帯トイレ使用訓練を取り入れる予定。

（沼間小学校地区）

10月17日（土）に実施予定。前日には学校の授業として児童が避難所設営を行う取り組みも継続。福祉避難所設置訓練（療育教育センター等と連携）も実施中。地域の海側住民や地域団体（735style など）をオブザーバーとして参加させ、避難者

を運営の担い手として巻き込む取り組みを推進している。

(逗子小学校地区)

逗子小学校・交流センターを会場に実施予定。イベント型訓練として各種ブースを設け、独自に段取りを行う方針。

5 議題4 連絡事項・意見交換

(1) 風水害等早期避難所の運営体制について

防災安全課から、早期避難所は市内5小学校と逗子アリーナを対象とし、開設時は防災行政無線・防災防犯メール・ホームページ等で通知する。基本的に市職員が対応するが、避難者が想定を上回る場合は委員へ個別に電話で支援を要請する旨を説明。また、委員への防災防犯メール登録を改めて依頼した。

(2) 意見交換

○避難所開錠・鍵管理について

鍵を保管する役員が有事の際に駆けつけられない可能性があるとの問題提起があった。小坪小学校地区では防災倉庫外壁にキーボックスを設置し、暗証番号を訓練参加者に共有することで開錠できる人員を確保している事例を紹介した。他地区からも同様の対応を求める意見が相次ぎ、防災安全課で早期対応を検討することとした。

○避難所間の通信・連絡体制について

大規模災害時における避難所間の連絡手段の確保を求める意見があった。MCA無線は2029年に廃止予定であり、代替通信手段の早期検討を求めた。防災安全課から、新たな通信技術の実証実験を進めており、廃止前に検証を完了したい旨を説明した。迅速な対応と情報統制のバランスを踏まえたルール整備が課題として確認された。

○障害者・要支援者の避難訓練について

支援が必要な方を対象とした訓練が不十分との意見が複数あった。沼間小学校地区から視覚障害者・車椅子使用者が参加した訓練実績が紹介され、インクルーシブ防災の地域での取り組みも共有された。防災安全課から、要支援者が地域の訓練に参加できる仕組みづくりを検討する旨を回答した。社会福祉協議会との連携強化を求める意見が複数あった。

6 閉会

